

技術・家庭科（家庭分野）

技術・家庭科（家庭分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。
- 4 よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付けられるよう、生徒が生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、生活に関する実践的・体験的な活動を通して、生活における問題を見出し解決策を構想したり、実践を評価・改善したりする活動が適切に取り上げられていること。
- 5 よりよい生活を営むための課題と実践がバランスよく取り上げられるとともに、家族や家庭、衣食住、消費や環境等にかかる生活事象について、生徒が協力・協働、健康・快適、安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、自立した消費者としての素養を高められるよう工夫・配慮がなされていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

技術・家庭科（家庭分野）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」

各節始めの「キーワード」、各編最後の「大切な用語」で基礎的・基本的な内容を示すとともに、巻末の「言葉のページ」で家庭分野の学習に関わる表現や名称を解説している。また、特設ページ「いつも確かめよう」では、実習や生活の実践に関わる技能や科学的根拠についてポイントをまとめて掲載されており、生徒が基礎的・基本的な知識・技能をいつでも繰り返し確認できる点が優れている。

巻頭のガイダンスにおいては、問題解決のプロセスに沿った手順だけでなく、生活の営みに係る見方・考え方の視点を4つのキーワードとマークを用いて紹介するとともに、各編の導入ページにおいても、各編の学習内容に関連する見方・考え方をマークで明示したうえで実践的・体験的な活動を行う構成とするなど、生徒が見方・考え方を繰り返し確認・働かせながら学習を進められるよう工夫されており、優れている。

さらに、巻末の「生活の課題と実践」では、生徒が問題解決的な学習と巻頭のガイダンスをリンクさせ、見方・考え方を働かせながら計画・実践・改善したことを生活に生かすことができるよう工夫されている。また、表現力を育むことができるよう、レポート例、プレゼンテーションソフトウェア例などの豊富な表現方法を写真やイラストを用いて提示するとともに、課題設定の方法やまとめと発表の仕方のポイントを掲載することで、主体的な学習活動や言語活動を促すなど、優れた工夫がされている。

実習例のページにおいて、「私のオリジナル」として工夫した内容を紹介したり、世界のいろいろな住まいの紹介など、学習内容をさらに深める情報を「発展」マークで提示したりするなど、生徒の興味・関心に応じて発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。また、伝統的な料理や食材、衣服の文化、和式の住まいの特徴、京町家の写真など、日本の伝統的な生活文化に関する内容には「伝統文化」マークを付けて掲載することで、生徒の注視を促すよう工夫されている。

■教育図書「New 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する」

各節の始めに「キーワード」が示されていることで、生徒が基礎的・基本的な内容を確認しながら学習できることに加え、「やってみよう」のページを「見つめる」→「学ぶ」→「ふり返る」で統一するなど、知識・技能を身に付けやすいよう工夫されている。また、調理や製作に関する学習の流れを見開きページに統一したり、解説付きの写真や図表など、科学的な理解を助ける視覚的な資料を多く掲載したりするなど、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている点が優れている。

一方、巻頭のガイダンスにおいては、家庭分野の学習の考え方の視点を具体的に紹介し、章末の「学びを生かそう」の中で、各章の内容に応じた課題についての学習の進め方がまとめられているが、生活の営みに係る見方・考え方について、4つの視点に関するまとまった記載がないため、生徒が実践的・体験的な学習内容をイメージしにくい。

巻末の「生活の課題と実践」に掲載されている学習課題と実践例は、巻頭のガイダンスと各章

の「学習を生かして自分の課題に取り組もう！」ともリンクしており、また、「課題設定のヒント」と「私の課題例」の中で、まとめ方や発表方法の例も併せて掲載されていることで、生徒の表現力を育むとともに、課題の設定と実践のイメージを持ちやすいよう工夫されている。

実習例のページにおいては、「アレンジ例」を紹介したり、地域の伝統的な器の紹介など、学習内容をさらに深める情報を「発展」マークで提示したりするなど、生徒の興味・関心に応じて発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。また、伝統的な年中行事や、地域の食文化、和食の調理、和服、伝統的な住まいなど、日本の伝統的な生活文化に関する内容に「伝統文化」マークを付けて掲載することで、生徒の注視を促すよう工夫されている。

■開隆堂出版「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」

各節の本文中に、基礎的・基本的な知識を黄色の背景で枠囲みして示すとともに、調理や製作に関する見開きページでは、写真やイラストを効果的に掲載するなど、生徒が基礎・基本の技能を捉えやすいよう工夫されている。また、「調理方法Q&A」は短い問いと答えの形式にまとめられており、生徒が科学的根拠に基づいた知識・技能を習得しやすいよう工夫されている。さらに、各節の始めに「学習の目標」を掲げ、各章の終わりに「ふり返り」欄を設け、生徒自身の言葉で学習の振り返りができるようにすることで、生徒が見通しと課題意識をもって学習を進められるよう工夫されている。

実習例のページにおいて「実習Q&A」として科学的根拠やポイントを示したり、子どもの権利を守るための条約や法律の紹介など、学習内容をさらに深める情報を「発展」マークで提示したりするなど、生徒の興味・関心に応じて発展的な活動につなげられるよう工夫されている。

巻頭のガイダンスにおいては問題解決のプロセスに沿った手順だけでなく、生活の営みに係る見方・考え方の視点が4つのキーワードとイラストを用いて紹介されるとともに、各編の導入ページにおいても見方・考え方が説明されるなど、生徒が見方・考え方を繰り返し働かせながら学習できるよう工夫されている。

学習項目については、家族や幼児、高齢者など地域の異なる世代の人たちと共に生活する視点で構成されており、地域の人々と関わることの大切さへの理解とともに、高齢者宅でのボランティアやデイサービスセンターでの交流など、自発的な行動を促す具体的な活動例を盛り込むなど、工夫されている。また、全国各地の和食や郷土料理、伝統的な民家や和服など、日本の伝統的な生活文化に関する内容に「伝統文化」マークを付けて掲載することで、生徒の注視を促すよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点		東京書籍	教育図書	開隆堂
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること	1	基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	◎	◎	○
		2	指導事項(学習のめあてや振り返り活動等)の明示	○	○	○
		3	安全・衛生への自覚を促す工夫	◎	◎	○
2	習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること	1	習得した知識・技能の活用を促す工夫	○	○	○
		2	問題解決的な学習や言語活動の充実の工夫	◎	○	○
		3	思考力・判断力・表現力の育成に向けた工夫	○	○	○
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすい工夫・配慮がなされていること	1	主体的・対話的な学習に向けた工夫	○	○	◎
		2	探究意欲を高める工夫	◎	○	◎
		3	発展的な学習活動につながる工夫	○	○	○
4	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付けられるよう、生徒が生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、生活に関する実践的・体験的な活動を通して、生活における問題を見出し解決策を構想したり、実践を評価・改善したりする活動が適切に取り上げられていること	1	生活における課題設定・実践・評価・改善等の学習活動の充実	◎	◎	○
		2	生活の営みにかかる題材設定の工夫及び実践的・体験的な活動の充実	◎	△	○
5	よりよい生活を営むための課題と実践がバランスよく取り上げられるとともに、家族や家庭、衣食住、消費や環境等にかかる生活事象について、生徒が協力・協働、健康・快適、安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、自立した消費者としての素養を高められるよう工夫・配慮がなされていること	1	生活の課題と実践の学習内容の充実	◎	○	○
		2	持続可能な社会の担い手となる態度を養うための工夫	○	○	◎
		3	家族や家庭生活、地域の人々との関わりの充実	○	○	○
		4	伝統的な生活文化に関する学習内容の充実	○	○	○
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること	1	人権教育の推進	○	○	◎
		2	道徳教育の推進	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること	1	題材構成の系統性・発展性	○	◎	○
		2	他教科や教育課題等との関連	◎	○	○
		3	他校種との接続	◎	○	○
		4	家庭・地域との連携	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすい工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること	1	文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○

【技術・家庭科（家庭分野）】観点別資料

【選定の観点１】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
○各節始めの「キーワード」、各編最後の「大切な用語」で基礎的・基本的な内容を示すとともに、巻末の「言葉のページ」で家庭分野の学習に関わる表現や名称を解説している。また、見開きの特設ページ「いつも確かめよう」では、実習や生活の実践に関わる技能や科学的根拠についてポイントをまとめて掲載されており、生徒が基礎的・基本的な知識・技能をいつでも繰り返し確認できる点で優れている。 ○各編の構成は、「編の導入」→「基本ページ」→「学習のまとめ」で統一されており、導入ではこの編で学ぶ内容についてイラストを用いてイメージしやすい工夫がされているとともに、見開きページのまとめの部分では、生徒が学習内容を振り返って確認し、復習できるよう工夫されている。 ○各節の始めに「目標」と「キーワード」を掲げ、最後の「まとめよう」で節の学習のまとめを行い、「自己評価」欄では、評価項目に応じて達成度を横軸のグラフで表示することによって、生徒自身が学習状況を振り返り、見通しと課題意識を持って学習を進められるよう工夫されている。 ○調理・製作・触れ合い体験の実習には「安全」「衛生」マークを付し、生徒へ安全・衛生への意識付けを図るとともに、実習の流れの中で具体的な危険回避や対処の方法を紹介したり、巻頭ページにおいて危険な行動をイラストや写真を用いて具体的に紹介したりするなど、安全・衛生への自覚を促すための工夫が優れている。	○各節の始めに「キーワード」が示されていることで、生徒が基礎的・基本的な内容を確認しながら学習できることに加え、「やってみよう」のページを「見つめる」→「学ぶ」→「ふり返る」で統一するなど、知識・技能を身に付けやすいよう工夫されている。また、調理や製作に関する学習の流れを見開きページに統一したり、解説付きの写真や図表など、科学的な理解を助ける視覚的な資料を多く掲載したりするなど、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている点が優れている。 ○各編の構成は、「導入」→「やってみよう」→「学びを生かそう」で統一されているとともに、各扉ページはこの編で学ぶ内容をイメージさせるイラストや言葉等を用いたり、生徒自らの生活を見つめる「自立度チェック」欄を設けたりするなど工夫されている。また、章末の「学習のふり返り」のページでは、「知識・技能」などの評価の観点別に振り返りができるようになっており、生徒が自己評価しやすいよう工夫されている。 ○各節の始めに「めあて」と「キーワード」を掲げ、最後の「確認」でこの節の学習を３段階で自己評価するとともに、生徒自身の言葉で振り返ることができる「私の学び」欄を設け、見通しと課題意識を持って学習を進められるよう工夫されている。 ○調理・製作・触れ合い体験の実習には「安全」「衛生」マークを付し、生徒へ安全・衛生への意識付けを図るとともに、危険回避や対処の方法について紹介するコーナーや巻頭ページにおいてイラスト等を用いて危険な行動を具体的に紹介するなど、生徒の安全・衛生への自覚を促すための工夫が優れている。	○各節の本文中に、基礎的・基本的な知識を黄色の背景で枠囲みして示すとともに、調理や製作に関する見開きページでは、生徒が基礎・基本の技能を捉えやすいよう写真やイラストを効果的に掲載するなど、学習する内容を確認しやすい工夫がされている。また、「調理方法Q&A」は短い問いと答えの形式にまとめられており、生徒が科学的根拠に基づいた知識・技能を習得しやすいよう工夫されている。 ○各編の構成は、主体的な学び（ステップ１）→対話的な学び（ステップ２）→深い学び（ステップ３）で統一されており、導入ページではこの編で学ぶ内容を生徒がイメージできる写真を用いたり、「一人で食べる？みんなで食べる？」など、興味・関心をもてるような言葉を盛り込んだりするなど工夫されている。また「学習のまとめ」のページでは、「知識・技能」などの評価の観点別に生徒が学習を振り返って確認できるよう工夫されている。 ○各節の始めに「学習の目標」を掲げ、各章の終わりに「ふり返り」欄を設け、生徒自身の言葉で学習の振り返りができるようにすることで、生徒が見通しと課題意識を持って学習を進められるよう工夫されている。 ○調理・製作実習には「安全」「衛生」マークを付して、実習の具体的な場面における危険回避や対処の方法について生徒への意識付けが図られるよう工夫されている。

【選定の観点２】

習得した知識・技能を活用しながら，生徒が問題発見・解決的な学習，話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み，多面的・多角的に考察しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
○生徒が学習を深める活動を行う部分を各節本文中に「活動」マークで示し，節の終わりの「生活に生かそう」欄で「～する機会を考えましょう。」など，節の学習内容を実際の生活に活用することを促す活動が示されるなど工夫されている。また，各編の終わりの「学習のまとめ」で，生徒が各編の学習を総合的に活用する機会を設けるなど，工夫されている。 ○本文中の「考えてみよう」「話し合ってみよう」で，「どんな特徴があるか考えましょう。」などの活動が設定されており，生徒が問題解決的な活動を通して言語活動の充実が図られるよう工夫されている。また，巻頭のガイダンスの「問題を解決する道筋と見方・考え方」や，巻末の「生活の課題と実践」において，問題解決のプロセスに沿った手順だけでなく，家庭科の学習の見方・考え方との関連も紹介することにより，生徒が主体的に問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている点で優れている。 ○各編最後の「学習のまとめ」では，「生活に生かそう」として，生徒が自身の生活を見直して考え，まとめる問いを設定するとともに，巻末「生活の課題と実践」では，各編の学習内容ごとにまとめ方とともに実践例を紹介し，生徒自身で課題の発見から解決までの計画を立てる設定とするなど，思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。	○学習活動内の「やってみよう」で「地域の食材を用いた和食の調理をしてみよう」など，生徒が習得した知識・技能を活用できる機会を設けている。また，章末の「学習のふり返り」の見開きページでこの章で学んだことを総合的に活用する構成になっており，学習内容全体を捉えて知識・技能を活用しやすいよう工夫されている。 ○本文中の「考えてみよう」「話し合ってみよう」で，場にふさわしい服装を具体的に考えるなどの活動が設定されており，生徒が問題解決的な活動を通して言語活動の充実が図られるよう工夫されている。また，巻頭の「自分の課題をもって学習に取り組もう！」や章末の「学びを生かそう」において，問題解決のプロセスが繰り返し紹介され，生徒が主体的に問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ○章末の「学習のふり返り」では「考えてみよう」として，学習した内容を生徒自身の言葉でまとめる問いが示されるとともに，巻末の「生活の課題と実践」では，各章の学習内容ごとに実践例を紹介し，生徒自身で課題の発見から解決までの計画を立てる設定とするなど，思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。	○各章の終わりの「生活にいかそう」欄は，実生活を想定しやすい写真やイラストを使うとともに，避難所で少しでも居心地がよくなる工夫について中学生としてできることを考える活動など，学習のまとまりごとに学習内容を総合的に活用する課題が設定され，生徒が習得した知識・技能を生かして考えやすいよう工夫されている。 ○本文中の「考えてみよう」「話し合ってみよう」「発表しよう」で，介助を体験し，注意点を話し合う活動など，生徒が問題解決的な活動を通して言語活動の充実が図られるよう工夫されている。また，巻頭のガイダンスの「主体的・対話的で深い学びをしよう」や，巻末の「生活の課題と実践」において，問題解決のプロセスに沿った手順が繰り返し紹介され，生徒が主体的に問題解決に取り組めるよう工夫されている。 ○章末の「学習のまとめ」では，学習した内容を生徒自身の言葉で考えてまとめる問いが「知識・技能」などの評価の観点の名称とともに示され，巻末の「生活の課題と実践」では，各編の学習内容と関連した実践例を紹介し，生徒自身で課題設定から解決までの計画を立てる設定とするなど，思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。

【選定の観点3】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
○各節の「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」といった問いの中で、「食事の役割について話し合いましょう。」などの学習活動が具体的に提案されており、生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○各節の「活動」マークで示された学習において、物事を考えたり意見を整理したりする際に有効な思考ツールが随所に紹介されている。また、巻末の「生活の課題と実践」では、学習内容を生活に生かす工夫とともに、様々な思考ツールやそれらを活用する際の手順や留意点を具体的に紹介するなど、生徒が探究意欲を高められるよう優れた工夫がされている。 ○実習例のページにおいて、「私のオリジナル」として工夫した内容を紹介したり、世界のいろいろな住まいの紹介など、学習内容をさらに深める情報を「発展」マークで提示したりするなど、生徒の興味・関心に応じて発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。	○各節の「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」といった問いの中で、「制服のよいところをグループで話し合ってみよう。」などの学習活動が具体的に提示されており、生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○先輩や地域・社会で活躍している人など、各題材と関連する人たちからのメッセージを掲載することにより、各章における学習内容に対する生徒の興味を喚起するとともに、各節の「考えてみよう」「調べてみよう」「つくってみよう」などの活動で「栄養バランスのよい、中学生の1日分の献立を考えてみよう」など、多様な活動を提示し、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。 ○実習例のページにおいて、「アレンジ例」を紹介したり、地域の伝統的な器の紹介など、学習内容をさらに深める情報を「発展」マークで提示したりするなど、生徒の興味・関心に応じて発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。	○巻頭のガイダンスにおいて、具体的な学習方法を説明するとともに、各節の「考えてみよう」「話し合ってみよう」「発表しよう」「やってみよう」といった学習活動の中で、生活の中で家庭の仕事にどのように関わっていくことができるか話し合ったりするなど、学習活動を具体的に提案することで、生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている点が優れている。 ○各編の扉ページや各節の「考えてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」などの学習活動において、様々な角度から各節の学習課題などを推察するフォトランゲージが取り入れられるとともに、生徒自身が学習前後に興味・関心を持ったことを記載する欄を設け、前後の違いを考察するなど、学習に対する探究意欲を高められる工夫が優れている。 ○実習例のページにおいて「実習Q&A」として科学的根拠やポイントを示したり、子どもの権利を守るための条約や法律の紹介など、学習内容をさらに深める情報を「発展」マークで提示したりするなど、生徒の興味・関心に応じて発展的な活動につなげられるよう工夫されている。

【選定の観点4】

よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付けられるよう、生徒が生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、生活に関する実践的・体験的な活動を通して、生活における問題を見出し解決策を構想したり、実践を評価・改善したりする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
○キャラクターのセリフやマーク、イラストを用いて、生活の営みに係る見方・考え方を表すことにより、生徒が具体的なイメージをもって学習課題を実践的・体験的に活動できるよう工夫されている。また、各実習例の始めに「目標」、終わりに「これだけはできるようになろう!」と学習内容を評価する構成となっており、生徒が課題設定・解決の道筋に沿った学習活動がしやすいよう工夫されており、優れている。 ○巻頭のガイダンスにおいて、生徒の成長の過程を示しながら、生活の営みに係る見方・考え方の視点を4つのキーワードとマークを用いて紹介するとともに、各編の導入ページにおいても、各編の学習内容に関連する見方・考え方をマークで明示したうえで実践的・体験的な活動を行えるような設定にするなど、生徒が見方・考え方を繰り返し確認・働かせながら学習を進められるよう工夫されており、優れている。	○中学生と先生のキャラクターの対話の場面や、写真、各実習のアレンジ例・失敗例など、具体的な資料を提示することにより、生徒が身近な生活から課題を発見・設定し、実践的・体験的な学習活動が進められるよう工夫されている。また、「やってみよう」でロールプレイングや実験等の様々な具体例を示すことにより、生徒が課題設定・解決の道筋に沿った学習活動がしやすいよう工夫されており、優れている。 ○巻頭のガイダンスにおいて、家庭分野の学習の考え方の視点を具体的に紹介し、章末の学習のまとめ部分「学びを生かそう」の中で各章の内容に応じた課題についての学習の進め方がまとめられている。一方、生活の営みに係る見方・考え方については、各学習の導入部分において、生徒と先生の対話の場面から気付きを得られるよう配慮することと、4つの視点に関するまとまった記載がないため、生徒が実践的・体験的な学習内容をイメージしにくい。	○キャラクターのセリフを参考に、生徒が学習内容に応じた課題設定を行い、自身の生活を問い直し、改善できるよう、考え、体験する学習や、様々な実践的・体験的な活動ができるよう工夫されている。また、各実習例では、目標や活用例が明示され、生徒が課題設定・解決の道筋に沿った学習活動がしやすいよう工夫されている。 ○巻頭のガイダンスにおいて、生活の営みに係る見方・考え方の視点が4つのキーワードとイラストを用いて紹介されるとともに、各編の導入ページにおいても見方・考え方が説明されるなど、生徒が見方・考え方を繰り返し働かせながら学習できるよう工夫されている。

【選定の観点5】

よりよい生活を営むための課題と実践がバランスよく取り上げられるとともに、家族や家庭、衣食住、消費や環境等にかかる生活事象について、生徒が協力・協働、健康・快適、安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、自立した消費者としての素養を高められるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
○巻末の「生活の課題と実践」では、生徒が問題解決的な学習と巻頭のガイダンスをリンクさせ、見方・考え方を働かせながら計画・実践・改善したことを生活に生かすことができるよう工夫されている。また、表現力を育むことができるよう、レポート例、プレゼンテーションソフトウェア例などの豊富な表現方法を写真やイラストを用いて提示するとともに、課題設定の方法やまとめと発表の仕方のポイントを掲載することで、主体的な学習活動や言語活動を促すなど、優れた工夫がされている。 ○1から4編の最終節はそれぞれの編の学習内容に応じた持続可能な生活を目指した内容で構成を統一することで、生徒が全ての学習でSDG sの視点から持続可能な社会の構築に寄与する態度を養えるよう工夫されている。 ○幼児や高齢者との関わりを随所に取り上げ、地域行事への参加、地域の清掃活動など、中学校段階における生活環境全般を意識した内容が充実している。また、家族や地域、高齢者との関わりを考えるロールプレイングや消費者トラブルへの対処法を考える活動例を漫画で示すなど、実践的・体験的な学習活動ができるよう工夫されている。 ○伝統的な料理や食材、衣服の文化、和式の住まいの特徴、京町家の写真など、日本の伝統的な生活文化に関する内容には「伝統文化」マークを付けて掲載することで、生徒の注視を促すとともに、伝統的な生活文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮されている。	○巻末の「生活の課題と実践」に掲載されている学習課題と実践例は、巻頭のガイダンスと各領域の「学習を生かして自分の課題に取り組もう！」ともリンクしており、生徒が手順に沿って繰り返し問題解決的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、「課題設定のヒント」と「私の課題例」の中で、まとめ方や発表方法の例も併せて掲載されていることで、生徒の表現力を育むとともに、課題の設定と実践のイメージを持ちやすいよう工夫されている。 ○環境に関する内容には「環境」マークを付し、生徒が生活と環境の関わりに気付くことができるよう配慮されている。また、SDG sのロゴを掲載し、生徒が17の目標から重要だと思うものを選ぶ活動を通して、持続可能な社会の構築に向けて、身近なことでできることを考えることができるよう工夫されている。 ○地域の一員としてのイメージを持ちやすいよう、地域の人々との助け合い、協働といった内容が取り上げられており、それぞれの地域に応じた取り組みができるよう工夫されている。また、保育士や栄養士など、学習に関わりのある人々からのメッセージを掲載することで、生徒が将来を見据え、自ら生活をよりよいものにする実践的態度を養うことができるよう工夫されている。 ○伝統的な年中行事や、地域の食文化、和食の調理、和服、伝統的な住まいなど、日本の伝統的な生活文化に関する内容に「伝統文化」マークを付けて掲載することで、生徒の注視を促すとともに、伝統的な生活文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮されている。	○巻頭のガイダンスにおいて、主体的・対話的で深い学びの理解を促す学習方法が掲載されている。また、巻末の「生活の課題と実践」では、課題に対する家庭や地域での学習の進め方やまとめ方が具体的に掲載されているとともに、多種多様な実践例が紹介されていることで、課題の設定と実践のイメージを持ちやすく、計画的に学習を進める手助けとなるよう工夫されている。 ○巻頭のガイダンスにおいて、SDG sの17の目標と学習内容との関連が示されるとともに、各章の学習内容を踏まえた「持続可能な～生活」の節が各章末に設けられ、「考えよう」や「話し合ってみよう」などの活動の中で、学習内容に関連するSDG sの目標がアイコンとともに示されていることで、自らの消費行動の環境への影響を具体的に考え、生徒が持続可能な社会を目指した行動ができるよう優れた工夫がされている。 ○家族や幼児、高齢者など地域の異なる世代の人たちと共に生活する視点で学習項目が構成されており、地域の人々と関わることの大切さへの理解とともに、高齢者宅でのボランティアやデイサービスセンターでの交流など、自発的な行動を促す具体的な活動例を盛り込むなど、工夫されている。 ○全国各地の和食や郷土料理、伝統的な民家や和服など、日本の伝統的な生活文化に関する内容に「伝統文化」マークを付けて掲載することで、生徒の注視を促すとともに、生徒が伝統的な生活文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮されている。

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
○幼児から高齢者までの世代の異なる人、障害のある人やない人、様々な国籍の人、異なる文化や言語を持つ人などが写真やイラストで登場し、生徒が周囲の人との共生の大切さを自覚できるよう工夫されている。また、男女がともに子育てに関わっている姿を写真やイラストで示すなど、男女共同参画社会における男女のあり方を考えることができるよう工夫されている。 ○家族や地域の人々との触れ合いや他者、友達との学び合いを通した学習活動を掲載し、生徒に自他の敬愛や協力、公共の精神が育まれるよう工夫されている。また、道徳の学習と関連する内容には「他教科」マークを付すなど、生徒が道徳教育と関連付けて学習しやすいよう工夫されている。	○様々な人と助け合い、生活していく上で大切なことには「共生」マークを示すことで、生徒が自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう工夫されている。また男女共同参画社会に関するコラムを掲載したり、男女の役割や服装が偏らないような資料を掲載したりするなど、男女共同参画社会における男女のあり方を考えることができるよう工夫されている。 ○家族・家庭とはどのような存在かを考える活動から具体的な家庭の仕事へと学習を展開し、生徒が家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くために必要なことが学習できるよう工夫されている。また、生活していく上で様々な人と助け合うことが必要である内容などに道徳の学習との関連を示す「リンク」マークを付し、生徒が公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めることができるよう工夫されている。	○様々な立場の人が差別や偏見なく自分らしく生きられるよう配慮した取組や、性の多様性を理解するために、LGBTについて実際に中学校で話し合われた様子を紹介したり、ジェンダーの視点から、衣服を自分らしく着たりすることが個性の表現に繋がること等の具体例が示されている。また、各編の随所に、学習内容とSDGsとの関わりについての話し合い活動が設けられていることで、生徒が主体的・協働的に社会の形成に参画する手段や方法を考えることができるなど、優れた工夫がされている。 ○生徒が家族をはじめ、地域の人々や学校の先生など、多くの人々に支えられていること、そして共生社会をテーマに、様々な人々が関わり合っていくことの必要性を理解することができる事例を掲載している。また、道徳の学習と関連する内容には他教科との関連マークを付し、生徒が道徳教育と関連付けて学習できるよう工夫されている。

【選定の観点 7】

系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
○3年間を通して「自立から共生」のストーリーになるよう配列されているとともに、各編は「編の導入」→「基本ページ」→「学習のまとめ」の構成で統一され、実習例や資料はその構成の中で適切に取り上げられている。また、幼児や高齢者の学習が第3学年の学習内容に位置付けられ、高等学校への円滑な接続を促すよう工夫されている。 ○他教科との関連をマークで示し、生徒が他教科との関連を意識し、教科横断的に学習を深められるよう工夫されている。また、巻末の資料では、技術分野や他教科との関連をマップで示す工夫が優れている。 ○巻頭のガイダンスで、中学校と小学校の学習内容を見開きで写真とともに提示したり、小学校での学習に関連する箇所に「小学校」マークを付したりすることで、生徒が小学校での学習の上に中学校の学習が積み重なっていることが実感できるよう工夫されている。また、高等学校の学習内容に関連が深い部分には「発展」マークを付け、生徒の興味・関心に応じて学習を深めていくことができるよう工夫されており、優れている。 ○地域に伝わる衣の文化や地域の食材を生かした和食、幼児とのふれあい体験が可能な施設の紹介資料などを掲載したり、調理実習や作品製作等の実習例を数多く掲載している。また、実習例のページに掲載されている「私のオリジナル」欄では、実習例とは別の簡単な工夫も取り上げられており、生徒が自分なりの課題を設定する際のヒントになり、家庭での実践を促すよう工夫されている。	○各編は、知識・技能を身に付ける本文ページ「やってみよう」と思考力・判断力・表現力を養うページ「学びを生かそう」を繰り返すことで、生徒が問題解決的な学習を繰り返して、資質・能力が身に付くよう工夫されている。また、実習題材は、基本技能の練習ができる題材から問題解決的な題材へと系統的に配列し、生徒の発達段階に合わせて取り組めるよう工夫されており、優れている。 ○他教科との関連をマークで示し、生徒が他教科との関連を意識し、教科横断的に学習を深められるよう工夫されている。 ○小学校での学習に関連する箇所をマークで示すとともに、特に高等学校の学習との関連内容は「発展」マークで示すことにより、生徒の理解度や興味・関心に応じて学習を深めていくことができるよう工夫されている。 ○地域で活躍している方からのメッセージを掲載することで、生徒が具体的なイメージを持って学習に取り組めるよう工夫されている。また、地域の食材例や、食文化、日本各地の住まいの例などを写真とともに掲載することで、生徒がそれぞれの地域の特徴について学習する際に活用しやすいよう工夫されている。さらに、地域の食材を用いた和食の実践課題をレポート例とともに提示することで、生徒が家庭や地域の良さを知って学びを深めていくことができるよう工夫されている。	○各内容・項目とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的な流れに沿って学習を進められるよう工夫されている。 ○他教科との関連を常に同じ位置にマークで示し、生徒が他教科との関連を意識し、教科横断的に学習を深められるよう工夫されている。 ○小学校の学習と関連する項目の冒頭に「小学校での学び」欄を設け、生徒が小学校で学習した内容を振り返ることができるよう工夫されている。また、高等学校の学習内容に関連が深い部分は「発展」として扱われることで、生徒の興味・関心に応じて学習を深めていくことができるよう工夫されている。 ○地域性を生かした食材や調理例（郷土食・行事食）がその地域の伝統的な食文化と関連付けながら掲載されていることで、生徒がそれぞれの地域について学習する際に活用しやすいよう工夫されている。また、巻末の「生活の課題と実践」では、児童館や子ども家庭支援センターの訪問、祖父母が食べていた手作りおやつ、1日の家事体験等の実践例が掲載され、生徒自身が家庭・地域を具体的に意識して実践に取り組めるよう工夫されている。

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
○文章表現は、発達段階に応じた適切な用語が用いられているとともに、中学校以降で学習する常用漢字には全てふりがなをつけ、生徒が音読しやすいよう配慮されている。また、写真では、肉、魚、野菜、穀類や幼児の使う小物の実物大サイズの写真が掲載されていることに加え、調理実習ページの写真は大きく、手順は横の流れの写真で示され、生徒が使いやすいよう工夫されている。 ○書体はユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し可読性を高めるとともに、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家からの校閲を受けている。 ○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。また、本文用紙は、写真が鮮やかに・温かみを帯びるような色味で表現でき、裏うつりにくい紙が使用されている。 ○環境に配慮した再生紙・植物油インキが使用されている。	○A4判を採用し、本文は、音読のしやすさを考慮した簡潔な文章になっており、吹き出しは親しみやすい口語的な言い回しが使用されている。また、漢字は基本的には常用漢字を使用し、中学校以降で学習する常用漢字には、見開き単位で新出箇所にもふりがなをつける配慮がされている。さらに、食品成分表が食品群で色別されており、生徒が使いやすいよう工夫されている。 ○書体はユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し、文字を大きくすることで、読みやすい行間になるよう配慮されている。また、カラーユニバーサルデザインの観点から、図やグラフの色使いで、生徒が色の境界がはっきりと識別できるよう配慮されている。 ○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。また、裏うつりにくい紙が使用されている。 ○環境に配慮した再生紙・植物油インキが使用されている。	○A判を採用し、本文では文節が途中で途切れないような書き方が意識され、読みやすく、支援が必要な生徒へも配慮されている。中学校以降で学習する常用漢字には、見開きページごとに新出箇所にふりがなをつける配慮がされている。肉、魚、野菜や乳幼児の手足やお弁当の実物大写真が掲載されていることに加え、調理実習ページの写真は大きく、手順は横の流れで示され、生徒が使いやすいよう工夫されている。 ○書体はユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し、読みやすい書体・大きさと生徒の発達段階に適するよう配慮されている。また、カラーユニバーサルデザインの観点から、図やグラフの輪郭や配色など、障害のある生徒も読み取りやすいよう配慮されている。 ○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。 ○環境に配慮した紙・インキが使用されている。